

ミュンヘン映画祭
観客賞受賞

眞実は私が決める

ゲッベルス

ヒトラーをプロデュースした男

監督・脚本: ヨアヒム・A・ラング 出演: ロベルト・シュタットローバー、フリッツ・カール、フランツィスカ・ワイズ

2024年|ドイツ・スロバキア|ドイツ語|128分|カラー|シネスコサイズ|原題:Führer und Verführer(英題:Fuhrer and Seducer)

配給:アット エンタテインメント Subsidized by German Films 

[illegible]

ZEITSPRUNG SWR maya ACI © 2023 Zeitsprung Pictures GmbH

© 2023 Zeitsprung Pictures GmbH

ヒトラーを英雄に仕立て上げ、大量虐殺に国民を加担させた、ナチの宣伝大臣ゲッベルス
プロパガンダの天才と呼ばれた驚愕の手法が今明かされる

我々をナチスの悪夢の
中心へと突き落とす

Le Figaro

操作的な戦略への
警戒心を呼び覚ます

The Guardian

いかに効果的に真実を
隠蔽したかを描いている

Rolling Stone

必見!

Cinema

2024

ミュンヘン映画祭

観客賞受賞

「我々は民衆を手なずけた」

「民主国家では宣伝次第で
バカでも権力を持てる」

「私がヒトラー総統を伝説にした」

終戦から80年。

いまでも世界は**ゲッベルス=〈扇動者〉**が溢れ、我々は操られている。

1933年のヒトラー首相就任から1945年にヒトラーが亡くなるまでの間、プロパガンダを主導する宣伝大臣として、国民を扇動してきたヨーゼフ・ゲッベルス。当初は平和を強調していたが、ユダヤ人の一掃と侵略戦争へと突き進むヒトラーから激しく批判され、ゲッベルスは信頼を失う。愛人との関係も断ち切れ、自身の地位を回復させるため、ヒトラーが望む反ユダヤ映画の製作、大衆を扇動する演説、綿密に計画された戦勝パレードを次々と企画し、国民の熱狂とヒトラーからの信頼を再び勝ち取るゲッベルス。独ソ戦でヒトラーの戦争は本格化し、ユダヤ人大量虐殺はピークに達する。スターリングラード敗戦後、ゲッベルスは国民の戦争参加をおもむく“総力戦演説”を行う。しかし、状況がますます絶望的になっていく中、ゲッベルスはヒトラーとともに第三帝国のイメージを後世に残す最も過激なプロパガンダを仕掛ける。

ヒトラーの腹心として、プロパガンダ政策を担ったゲッベルスは、演説、ラジオ、映画などメディアを通して国民感情を煽り、操り、ヒトラー政権を拡大させた。本作は、入念なリサーチに基づきゲッベルスの驚きの発言や行動、ヒトラーやナチ幹部たちの恐るべき会話など、裏側の実態を描き出し、その半生と戦略を暴き出す。

本作が2024年ミュンヘン映画祭で観客賞を受賞し評価されたのは、ゲッベルスの手法が現在も広がり続けているからに他ならない。ウクライナやガザにおける戦争、ポピュリズムや極右台頭の背後で喧伝される言葉や映像、量産されるフェイクニュース。インターネット全盛の現代社会で我々がどのようにウソを見抜き、真実を見極めることができるのか。これは現代社会への警告である。

希代の悪人を知らなければ、
現在の扇動家たちの正体を暴くことはできない。

ヨアヒム・A・ラング監督

監督・脚本:ヨアヒム・A・ラング 出演:ロベルト・シュタットローバー、フリッツ・カール、フランツィスカ・ワイズ

2024年 ドイツ・スロバキア・ドイツ語 128分 カラー シネマスサイズ 原題:Führer und Verführer (英語:Führer and Seducer) 配給:アット エンタテインメント Subsidized by German Films  © 2023 Zeitsprung Pictures GmbH 

*本作には、過去の実際の映像が使用されており、ショッキングな場面も含まれております。ご鑑賞いただく際には予めご注意ください。

goebbelsmovie.com

✕ @goebbelsmovie